

## 第3期

# 羅臼町子どもの読書活動推進計画

令和7年度～令和10年度

(2025年度～2028年度)

羅臼町教育委員会

### 第3期羅臼町子どもの読書活動推進計画策定にあたって

国は平成13年に「子どもの読書活動の推進に関する法律」を整備し、第2条に子どもの読書活動は、「子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないもの」であり、社会全体でその推進を図っていく必要があるとしています。

また、平成28年に、学校図書館の運営上の重要な事項について、その望ましい在り方を示した「学校図書館ガイドライン」を定め、学校図書館に期待される役割を示しました。

羅臼町では、「北海道子どもの読書活動推進計画（第4次）」（平成30年度～令和4年度）を参考に「第2期羅臼町子どもの読書活動推進計画」（令和3年度～令和6年度）を策定し、学校司書が中心となって子どもたちに最も身近である学校図書館の環境整備を進め、町立図書館が学校・家庭・地域の連携体制を整えながら、子どもたちの読書活動を推進してきました。

この度、第2期の計画の検証を行い、子どもたちの読書活動の成果と課題を洗い出し、今後の読書活動を推進していくための「第3期羅臼町子どもの読書活動推進計画」を策定いたしました。

また、この計画は、「羅臼町第9次社会教育中期計画」（令和6年度～令和9年度）の個別計画として位置づけております。

羅臼町においては、GIGAスクール構想によるひとり1台端末の整備が進み、子どもたちとデジタル端末との距離がより近い環境となりました。しかし、デジタル端末の使い方に影響を受けた生活習慣の乱れや読書離れなど、引き続き改善すべき課題があります。

このような背景から、「第3期羅臼町子どもの読書活動推進計画」に基づき、子どもの成長にあわせた読書活動を地域全体で推進していくことを期待いたします。

令和7年3月

羅臼町教育委員会 教育長 石崎 佳典

# 目 次

● 第1章「第3期 羅臼町子どもの読書活動推進計画」策定の基本的考え方	
➤ 1 基本理念	1
➤ 2 計画策定の趣旨	1
➤ 3 計画の期間	1
➤ 4 計画の対象と各期の特徴	1
➤ 5 読書活動の対象	2
➤ 6 「第2期計画」の数値結果及び成果と課題	3
● 第2章 羅臼町における読書活動の現状と課題	
➤ 1 子どもの読書の現状と課題	7
➤ 2 羅臼町図書館の現状と課題	9
➤ 3 学校図書館の現状と課題	10
➤ 4 読書活動を推進する担い手の現状と課題	10
● 第3章 子どもの読書活動のための取り組み	
基本目標1 学校・家庭・地域等を通じた社会全体での子どもの読書活動の推進	
➤ 各発達段階における読書活動の推進	12
基本目標2 子どもの読書活動を推進するための読書環境の整備	
➤ 羅臼町図書館における読書環境の整備	15
➤ 学校図書館における読書環境の整備	15
基本目標3 関係機関との連携・協力による推進体制の充実	17
計画関連図	18
第3期羅臼町子どもの読書活動推進計画策定委員名簿	19
策定スケジュール	19

# 第1章 「第3期 羅臼町子どもの読書活動推進計画」策定の基本的考え方

## 1 基本理念

羅臼町の子ども達が成長する中で、すべての発達段階において自主的に読書活動を行うことができるよう、学校・家庭・地域の連携を進め、積極的にその環境整備を図ります。

## 2 計画策定の趣旨

羅臼町子どもの読書活動推進計画は、平成13年12月12日に施行された「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づき、国及び北海道の策定した計画を参考とします。

本計画は、令和5年度から令和9年度の5年間を計画期間とする「第5次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」及び「北海道子どもの読書活動推進計画（第5次計画）」を参考に「羅臼町第9次社会教育中期計画」の個別計画として、羅臼町の子ども達の読書活動を推進するため、学校・家庭・地域が一体となって行う施策や取り組みを示すものです。

## 3 計画の期間

第3期計画は、令和7年度から令和10年度までの4年間として策定します。

## 4 計画の対象と各期の特徴

本計画は、羅臼町内に在住している0歳から18歳の方々を対象とします。

また、子どもの読書活動は、発達の段階に応じて取り組むことが重要であることから、この対象年齢を大きく5つの期間に分けて各期における特徴に応じて推進します。

### (1) 乳児期(0歳～3歳)「本に出会う」

読書習慣の形成は、乳児期の家庭での読み聞かせから始まります。子どもたちの発達段階に応じた読書習慣を身に付けさせていく上で、乳児期に家庭での読み聞かせを積極的に行い、読書習慣の土台づくりをしっかりとつくるのが大切です。

### (2) 幼児期(3歳～6歳)「本とふれあう」

3歳頃には、徐々に自分の意思や欲求を言葉で表出できるようになるとともに、文字の存在を意識し絵本に興味を示すようになります。この時期は絵本や物語などに親しみ、保護者等の周りにいる大人からの語りかけや言葉のやりとりを通じて、気持ちを通わせるのが大切です。

4歳以上になると、日常生活に必要な言葉が分かるようになり、かな文字も全部読めるようになってきます。この時期は、絵本や物語を読んでもらうことなどにより、その内容を自分の経験と結びつけ、想像を巡らせるなどして、読書の楽しみを十分に味わうことが大切です。

### **(3) 小学生期(6歳～12歳)「本に親しむ」**

低学年は、本を読む習慣が付き始める時期であり、文字で表された場面や情景をイメージすることができるようになってきます。この時期は、読み聞かせなどにより、いろいろな本に親しんだり読書を楽しんだりすることが大切です。

中学年は、多くの本を読むことができるようになるとともに、本を終わりまで読み通すことができるようになります。この時期は、幅広いジャンルの本に親しみ、読書を通して必要な知識や情報を得るようにすることが大切です。

高学年は、目的に合った本を読むようになり、内容を評価することができるようになります。この時期は、日常的に読書に親しみ、読書を通して自分の考えを広げるようにすることが大切です。

### **(4) 中学生期(12歳～15歳)「本から学ぶ」**

中学生期は、多くの本の中から自分に合った本を選択することができるようになります。また、共感・感動する本に出会うと、何度も読むようになります。この時期は、本や文章には様々な立場や考え方が書かれていることを知るとともに、読書が自分の生き方や社会との関わり方を支えてくれることを実感することが大切です。

### **(5) 高校生期(15歳～18歳)「本と生きる」**

高校生期は、読書の目的や資料の種類に応じて、適切な読書技術によって読むことができるようになります。この時期は、自分の読書生活を振り返り、読書の幅を広げるとともに、読書習慣を身につけ、生涯にわたって読書に親しむようにすることが大切です。

## **5 読書活動の対象**

本計画における「読書活動」の対象は、活字その他文字を用いて表現された図書などを言います。電子書籍を含む電子資料\*も該当します。

資料とは、CD-ROM やネットワーク情報資源(ネットワークを介して得られる情報コンテンツ)等の資料。電子書籍を含む。例:CD-ROM に収録された絵本、タブレット端末等に保存されている教材、インターネットからダウンロードした小説 など

## 6 「第2期計画」の数値結果及び成果と課題

### (1) 数値結果

◀目標指標▶ \*第2期は目標数値として、計画年度終了時点で参考地より3～6%の向上を目安に設定していた

○調査方法は、<sup>お</sup>緒むすびが実施する生活状況調べ（毎年11月小中学校3校において全学年を対象に実施）を活用する。

（2018年度から継続実施）

\*回答率 2021年:小86.3% 中82.5%、2022年:小87.6% 中91.7%、2023年 小79.7% 中87.5%、2024年 小78.2% 中81.9%

1	質問事項																				
	学校の授業時間以外に普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。 （教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます。）																				
	回答																				
	「10分以上～2時間以上」の割合 小学校 39.0% 中学校 29.5%（2024年度）（2020年 小学校 51%、中学校 51%）																				
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>10分以上～2時間（小学生）</p> <table border="1"> <caption>10分以上～2時間（小学生）</caption> <thead> <tr><th>年</th><th>割合</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>2021</td><td>45.9%</td></tr> <tr><td>2022</td><td>48.9%</td></tr> <tr><td>2023</td><td>46.7%</td></tr> <tr><td>2024</td><td>39.0%</td></tr> </tbody> </table> </div> <div style="text-align: center;"> <p>10分以上～2時間（中学生）</p> <table border="1"> <caption>10分以上～2時間（中学生）</caption> <thead> <tr><th>年</th><th>割合</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>2021</td><td>44.7%</td></tr> <tr><td>2022</td><td>45.5%</td></tr> <tr><td>2023</td><td>39.6%</td></tr> <tr><td>2024</td><td>29.5%</td></tr> </tbody> </table> </div> </div>	年	割合	2021	45.9%	2022	48.9%	2023	46.7%	2024	39.0%	年	割合	2021	44.7%	2022	45.5%	2023	39.6%	2024	29.5%
年	割合																				
2021	45.9%																				
2022	48.9%																				
2023	46.7%																				
2024	39.0%																				
年	割合																				
2021	44.7%																				
2022	45.5%																				
2023	39.6%																				
2024	29.5%																				

2	質問事項																				
	昼休みや放課後、学校が休みの日に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます。）を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか。																				
	回答																				
	「月1回～8回(週4回)以上行く」の割合 小学校 52.1% 中学校 22.1%（2024年度）（2020年 小学校 52%、中学校 29%）																				
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>月1～8回（小学生）</p> <table border="1"> <caption>月1～8回（小学生）</caption> <thead> <tr><th>年</th><th>割合</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>2021</td><td>46.4%</td></tr> <tr><td>2022</td><td>42.4%</td></tr> <tr><td>2023</td><td>57.0%</td></tr> <tr><td>2024</td><td>52.1%</td></tr> </tbody> </table> </div> <div style="text-align: center;"> <p>月1～8回（中学生）</p> <table border="1"> <caption>月1～8回（中学生）</caption> <thead> <tr><th>年</th><th>割合</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>2021</td><td>20.2%</td></tr> <tr><td>2022</td><td>23.2%</td></tr> <tr><td>2023</td><td>24.2%</td></tr> <tr><td>2024</td><td>22.1%</td></tr> </tbody> </table> </div> </div>	年	割合	2021	46.4%	2022	42.4%	2023	57.0%	2024	52.1%	年	割合	2021	20.2%	2022	23.2%	2023	24.2%	2024	22.1%
年	割合																				
2021	46.4%																				
2022	42.4%																				
2023	57.0%																				
2024	52.1%																				
年	割合																				
2021	20.2%																				
2022	23.2%																				
2023	24.2%																				
2024	22.1%																				

3	質 問 事 項																			
	休み時間や放課後、本を借りるために移動図書館バス「かもめ号」にどれくらい行きますか。																			
	回 答																			
	<p>「月1回～8回(週4回)以上行く」の割合</p> <p>小学校 33.3% 中学校 1.1% (2024年度) (2020年 小学校 31%、中学校 29%)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>月1～8回 (小学生)</p> <table border="1"> <caption>月1～8回 (小学生)</caption> <thead> <tr><th>年次</th><th>割合</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>2021</td><td>31.7%</td></tr> <tr><td>2022</td><td>20.7%</td></tr> <tr><td>2023</td><td>25.5%</td></tr> <tr><td>2024</td><td>33.3%</td></tr> </tbody> </table> </div> <div style="text-align: center;"> <p>月1～8回 (中学生)</p> <table border="1"> <caption>月1～8回 (中学生)</caption> <thead> <tr><th>年次</th><th>割合</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>2021</td><td>1.1%</td></tr> <tr><td>2022</td><td>3.0%</td></tr> <tr><td>2023</td><td>1.1%</td></tr> <tr><td>2024</td><td>1.1%</td></tr> </tbody> </table> </div> </div> <p>〈数値について〉 中学校は図書委員が団体貸出を利用している</p>	年次	割合	2021	31.7%	2022	20.7%	2023	25.5%	2024	33.3%	年次	割合	2021	1.1%	2022	3.0%	2023	1.1%	2024
年次	割合																			
2021	31.7%																			
2022	20.7%																			
2023	25.5%																			
2024	33.3%																			
年次	割合																			
2021	1.1%																			
2022	3.0%																			
2023	1.1%																			
2024	1.1%																			

4	質 問 事 項																			
	読書は好きだ																			
	回 答																			
	<p>「好き・どちらかといえば好き」の割合</p> <p>小学校 66.7% 中学校 59.0% (2024年度) (2020年 小学校 82%、中学校 74%)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>好き・どちらかといえば好き (小学生)</p> <table border="1"> <caption>好き・どちらかといえば好き (小学生)</caption> <thead> <tr><th>年次</th><th>割合</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>2021</td><td>78.7%</td></tr> <tr><td>2022</td><td>78.8%</td></tr> <tr><td>2023</td><td>74.5%</td></tr> <tr><td>2024</td><td>66.7%</td></tr> </tbody> </table> </div> <div style="text-align: center;"> <p>好き・どちらかといえば好き (中学生)</p> <table border="1"> <caption>好き・どちらかといえば好き (中学生)</caption> <thead> <tr><th>年次</th><th>割合</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>2021</td><td>76.6%</td></tr> <tr><td>2022</td><td>78.8%</td></tr> <tr><td>2023</td><td>71.4%</td></tr> <tr><td>2024</td><td>59.0%</td></tr> </tbody> </table> </div> </div>	年次	割合	2021	78.7%	2022	78.8%	2023	74.5%	2024	66.7%	年次	割合	2021	76.6%	2022	78.8%	2023	71.4%	2024
年次	割合																			
2021	78.7%																			
2022	78.8%																			
2023	74.5%																			
2024	66.7%																			
年次	割合																			
2021	76.6%																			
2022	78.8%																			
2023	71.4%																			
2024	59.0%																			

## (2) 検証結果

- ・調査全体から、小学生と中学生の読書状況を読み取ると
  - ①授業以外の読書量については、小学生は「読む」・「読まない」共に横ばい、中学生は読むが横ばい、読まないが微増ながら増加傾向である。
  - ②学校図書館・町立図書館に利用については、小学生は「利用する」が増加傾向、「利用しない」が減少傾向にあり、中学生は「利用する」「利用しない」ともに横ばいである。
  - ③移動図書館バス「かもめ号」の利用については、小学生では約7割以上、中学生ではほぼ100%に近い割合で利用していない。
  - ④読書の好き嫌いについては、小学生・中学生ともに「好き・どちらかといえば好き」が減少傾向、「どちらかといえば嫌い・嫌い」が増加傾向である。しかし、この増減については、分母となる全体数と回答率による影響と考えられる。
- ・小中学生の生活実態として、平日は学校が終わると、習い事や少年団、部活動で活動している子どもたちも多く、それらが終わってから宿題・家庭学習を行うと、自由に過ごすことができる時間が非常に限られている。余暇の選択肢の中に、読書を含まれるようにするには、やはり「読書が楽しい」と感じるような取組を継続して行っていく必要がある。
- ・学校図書館について、学校図書館の環境整備がかなり進んでおり、子どもたちの興味関心が高い分野に関する図書を整備することができているのは、継続して学校司書が配置されてきたことと、学校司書が子どもたちの興味関心をくみ取り、蔵書や環境整備に反映させてきたことによる成果と考える。また、学校図書館・町立図書館ともに各学級へ学級文庫での支援を行っており、朝読書等で学級文庫を利用している子どもが多いため、調査結果で学校図書館・町立図書館・移動図書館バス「かもめ号」の利用頻度の割合が低く出ていると考えられる。
- ・読書が「好き・どちらかといえば好き」の割合は、子どもの全体数が減少しているにも関わらず高い数値を保っている。そのため、羅臼町の子どもたちは、読書好きであると考え。これは、乳児期からの取組の積み重ねが、「読書が好き」という読書習慣を形成する土台となる部分をしっかり育成してきた成果と考える。「読書が好き」から一歩踏み込んだ「読書をする」に進めるには、子どもたちと本をつなぐ司書や学校司書の役割が重要となるため、本の展示紹介、読み聞かせをはじめ、おすすめの本のおもしろさを直接伝える（ブックトークなど）取組を積極的に行っていくことで、本と子どもたちを直接つなげていく必要がある。



## 《目標指標》

- 1、子どもの自律・親育て応援チーム「緒むすび」が実施する生活状況調査を活用する。
- 2、質問事項にあわせて、計画終了年度時点（令和10年度）で参考値より①を3%増やし、②を同%減らすことを目標とした。

	質 問 事 項	2024年度 結果数値	2028年度 目標数値
1	<p>学校の授業時間以外に普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。（教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます。）</p> <p>回答 ①10分間以上～2時間 ②10分未満・全くしない</p>	<p>①小学校 27.5% 中学校 14.7%</p> <p>②小学校 59.4% 中学校 70.5%</p>	<p>①小学校 30% 中学校 17%</p> <p>②小学校 56% 中学校 67%</p>
2	<p>昼休みや放課後、学校が休みの日に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます。）を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか。</p> <p>回答 ①月1回～8回（週4回）以上行く ②年数回・行かない</p>	<p>①小学校 52.1% 中学校 22.1%</p> <p>②小学校 47.8% 中学校 77.9%</p>	<p>①小学校 55% 中学校 25%</p> <p>②小学校 44% 中学校 74%</p>
3	<p>休み時間や放課後、本を借りるために移動図書館バス「かもめ号」にどれくらい行きますか。</p> <p>回答 ①月1回～8回（週4回）以上行く ②年数回・行かない</p>	<p>①小学校 26.1% 中学校 1.1%</p> <p>②小学校 66.7% 中学校 99.0%</p>	<p>①小学校 29% 中学校 —</p> <p>②小学校 63% 中学校 —</p>
4	<p>読書は好きだ</p> <p>回答 ①好き・どちらかといえば好き ②どちらかといえば嫌い・嫌い</p>	<p>①小学校 66.7% 中学校 59.0%</p> <p>②小学校 33.3% 中学校 40.0%</p>	<p>①小学校 70% 中学校 62%</p> <p>②小学校 30% 中学校 37%</p>



## 第2章 羅臼町における読書活動の現状と課題

### 1 子どもの読書の現状と課題

#### (1)乳児期

##### 【現状】

- ・読書習慣の形成は、乳幼児からの読み聞かせから始まるため、ブックスタート関連事業をはじめ、家庭での読み聞かせにつなげるための各種事業を実施している。

##### 【課題】

- ・乳児期は、保護者が読み聞かせを行うため、保護者への読書活動や読み聞かせ活動の啓発が重要である。事業参加者は、読み聞かせの重要性を感じてくれるが、事業不参加の保護者には、啓発活動ができていない。
- ・それぞれの事業では、参加者の満足度は高い傾向にあるが、乳幼児の利用者登録や貸出数につながらない状況にある。それぞれの事業がつながりを持ち、全体で読書習慣を形成していくという事業目的が保護者に伝わっていない。

#### (2)幼児期

##### 【現状】

- ・令和5年度からの新しい取り組みとして、「家読<sup>うちどく</sup>セット」を両幼稚園に設置し、親子で絵本や紙芝居にふれる機会をつくり、家庭での読書活動を推進している。
- ・移動図書館バス「かもめ号」での貸出を継続して実施することで、家庭での読書を支える大きな役割を担っている。

##### 【課題】

- ・幼児期はひとり読みができる子どもも出てくるが、依然として保護者による読み聞かせが家庭での読書活動では主であるため、保護者への読書活動や読み聞かせ活動の啓発が必要である。
- ・講演会等に参加したり、「家読<sup>うちどく</sup>セット」を借りたりする家庭に固定化が見られるため、読書活動に消極的な家庭への働きかけが必要である。

#### (3)小学生期

##### 【現状】

- ・学校司書の配置が継続して配置されたことにより、学校内での役割が定着し、学校図書館の整備や町立図書館と連携した図書の貸出を行っている。
- ・読み聞かせサークル・学校ボランティアと連携協力が定着し、小学校全学年での読み聞かせを継続して実施している。

- ・子どもたちの学校生活や興味関心に合わせた図書展示を行うことで、新刊以外の図書と子どもたちをつなぐ働きかけを行っている。

#### 【課題】

- ・学校司書、学校図書館等と連携し、小学校中学年、高学年の読書につながる事業の検討を行う必要がある。
- ・子どもの自律・親育て応援チーム「<sup>お</sup>緒むすび」による生活状況調査では、70%以上の子どもたちが「本が好き」または「どちらかといえば好き」と回答しているが、実際の読書量の調査では、一日の読書量が「10分未満」または「全くしない」と答える子どもたちが小学生・中学生ともに50%を超えることから、「読書が楽しい」と感じるだけでなく、読書習慣につながる取り組みを行う必要がある。

### (4)中学生期

#### 【現状】

- ・学校司書の配置が継続して配置されたことにより、学校内での役割が定着し、学校図書館の整備や町立図書館と連携した図書の貸出を行っている。
- ・中・高生からの学習室の設置希望をもとに、令和6年度より町立図書館多目的室を学習室として開放している。
- ・子どもたちの学校生活や興味関心に合わせた図書展示を行うことで、新刊以外の図書と子どもたちをつなぐ働きかけを行っている。

#### 【課題】

- ・中・高生～成人までは、「はざまの世代」と呼ばれており、「はざまの世代」の流行の移り変わりの速さに対応した図書館サービスを行うために、中・高生を巻き込んだ読書活動を行う必要がある。
- ・図書委員による学級文庫貸出のためのももめ号利用はあるものの、子どもの自律・親育て応援チーム「<sup>お</sup>緒むすび」生活状況調査結果からも個人利用がほとんどないため、個人利用につながる働きかけを行う必要がある。

### (5)高校生期

#### 【現状】

- ・中・高生からの学習室の設置希望をもとに、令和6年度より町立図書館多目的室を学習室として開放している。

#### 【課題】

- ・中・高生～成人までは、「はざまの世代」と呼ばれており、「はざまの世代」の流行の移り変わりの速さに対応した図書館サービスを行うために、中・高生を巻き込んだ読書活動を行う必要がある。
- ・学習室利用として来館した高校生の貸出につながる取り組みを行う必要がある。

## 2 羅臼町図書館の現状と課題

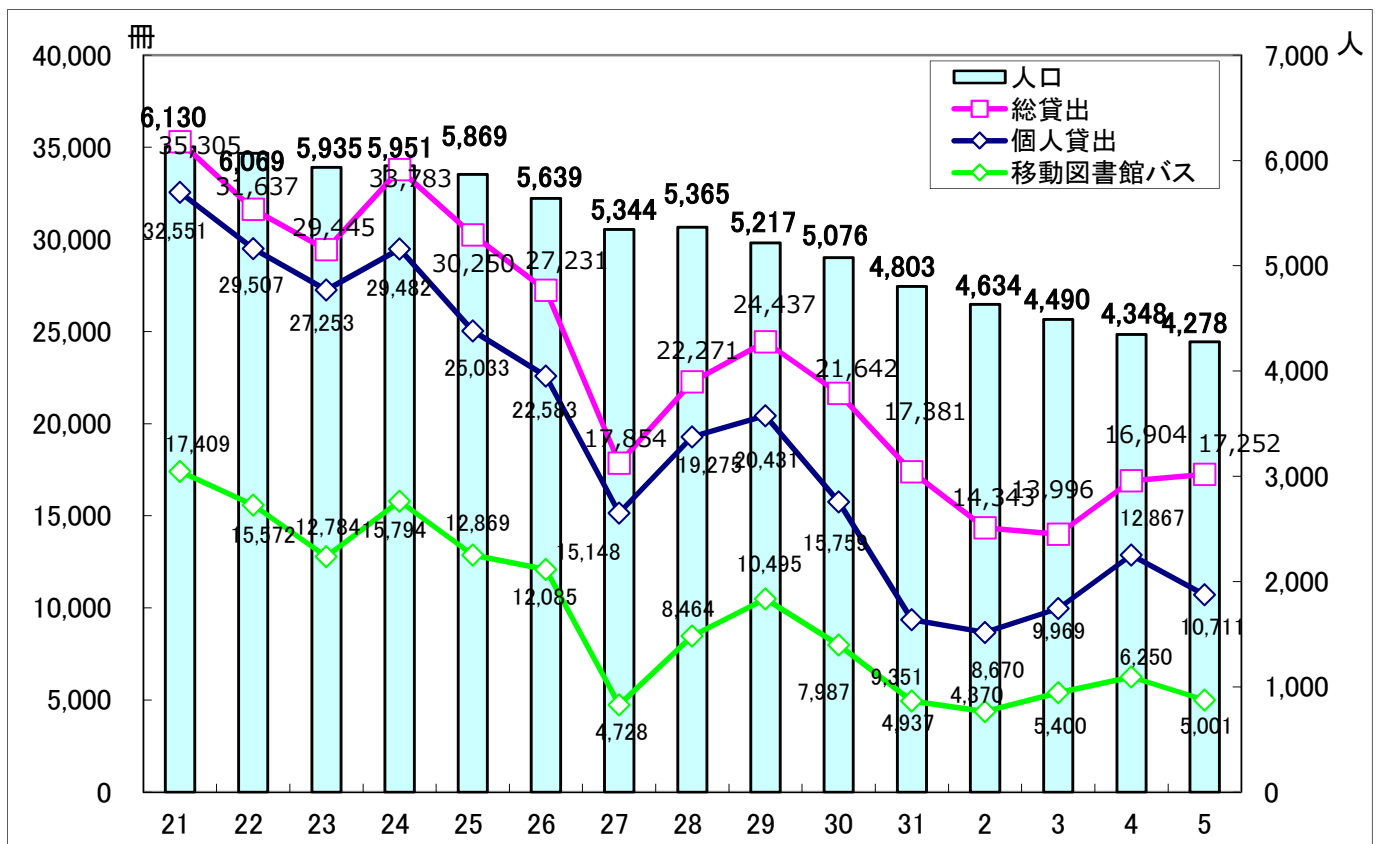
### 【現状】

- ・読書活動の基盤となる単独館の新図書館を予定通り令和6年6月にオープンした。
- ・蔵書を新図書館に集約することで、町民からのリクエストにスムーズに対応している。
- ・「羅臼町図書横断検索」の運用を開始することで、図書の可能な範囲で有効活用する仕組みを整備した。
- ・総合文化祭と同時開催の古本市の他に、町立図書館単独での古本市開催や役場ロビーに除籍本用本棚の設置を行い、除籍本の町民還元を推進している。

### 【課題】

- ・定期的な蔵書の除籍・更新を進め、蔵書の魅力化を図る必要がある。
- ・郷土資料をはじめ、年々増加していく蔵書を配架・保存していく場所の確保が必要である。
- ・町民が使いやすい蔵書検索システムの維持及び更新が必要である。
- ・蔵書の更新（廃棄等）に関する基準（規則）の整備を行う必要がある。

### 【町立図書館統計資料】



### 【過去5年間の貸出冊数】

	平成31年・令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
貸出冊数(個人)	9,351	8,670	9,969	12,867	10,711
うち児童書	6,346	5,257	6,350	8,382	6,747
比率	67.86	60.63	63.70	65.14	62.99
住民一人当たり 個人貸出冊数	1.95	1.87	2.22	2.95	2.50

### 〈参考〉【管内比較】(令和5年度)

	羅 臼 町	根 室 市	別 海 町	中 標 津 町	標 津 町
人口(R6.3.31)	4,278	22,650	14,018	22,094	4,786
個人貸出冊数	10,711	75,807	52,662	85,766	15,296
一人当たり 貸出冊数	2.50	3.35	3.76	3.88	3.20

## 3 学校図書館の現状と課題

### 【現状】

- ・すべての小中学校で蔵書管理システムを活用した貸出を開始したことで、学校の図書を家庭に持ち帰り読むことのできる環境を整備した。
- ・「羅臼町図書横断検索」の運用を開始することで、図書の可能な範囲で有効活用する仕組みを整備した。

### 【課題】

- ・定期的な蔵書の除籍・更新を進め、蔵書の魅力化を図る必要がある。
- ・児童・生徒が使いやすい蔵書検索システムの維持及び更新が必要である。
- ・学校図書館図書標準冊数を達成する蔵書数の確保を行う必要がある。

## 4 読書活動を推進する担い手の現状と課題

### 【現状】

- ・児童・生徒に関わる事業では、学校司書や教職員と連携して事業を実施している。
- ・読み聞かせに関わる事業では、各読み聞かせサークル・学校ボランティアと積極的にコミュニケーションを取り、情報共有や選書の助言等を行っている。
- ・家庭教育に関わる事業では、役場保健福祉課や子どもの自律・親育て応援チーム「<sup>お</sup>緒むすび」、

子育て支援ネットワークと連携して事業実施や情報交換を行っている。

### 【課題】

- ・ 学校司書の継続的な配置の要請が必要である。
- ・ 司書を適正配置し、町立図書館及び学校図書館運営の支援を行う推進体制をつくる必要がある。
- ・ 今後も各関係団体と情報交換・共有を綿密に行い、継続して連携していく必要がある。

## 令和6年6月にオープンした新羅白町図書館



1階閲覧室



飲み物を飲みながら過ごせる  
ドリンクスペース



2階おはなしのへや



2階多目的室  
(学習室として開放しています)

### 第3章 子どもの読書活動のための取り組み

第2章 現状及び課題を踏まえ、次に掲げる施策を推進します。

#### 基本目標 1 学校・家庭・地域等を通じた社会全体での子どもの読書活動の推進

子どもの読書習慣を定着させ、自主的な読書活動を推進するためには、学校・家庭・地域等、社会全体で取り組む必要があります。そのためには、それぞれの役割を明確にし、相互に連携し協力しつつ、子どもの発達段階に応じて多様な取り組みを推進します。

#### (1)乳児期

##### 【推進方策】

- \* 読書習慣の土台となる家庭における読書活動の推進
- \* 読書に親しむ環境づくりの推進
- \* 親子で読書活動の楽しさを学ぶ機会の提供

##### 【推進の方向性】

- ・読書習慣の形成は、乳児からの読み聞かせから始まるため、家庭での読書活動を中心に推進する。
- ・乳児期は、保護者から乳児への読書活動が中心となるため、保護者への働きかけを通して、乳児の読書活動の推進につなげる。

##### 【具体的な取り組み】 ●は重点事業

具体的な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者(家族)による絵本や物語の読み聞かせ</li> <li>・町立図書館や移動図書館バスで本を借りる</li> <li>・家族で町立図書館等の読書活動イベントに参加する</li> <li>・保護者自身が町立図書館や町が実施する講座等に参加し読書に親しむ</li> </ul>	事業名等	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ちいさい子のおはなし会</li> <li>●ブックスタート事業</li> <li>*本との出会い講座・講演会</li> <li>*図書館バス巡回事業</li> <li>*らうす古本市</li> <li>*<small>うちどく</small>家読推進事業</li> </ul>
----------	--	------	--

#### (2)幼児期

##### 【推進方策】

- \* 読書に親しむ環境づくりの推進
- \* 親子で読書活動の楽しさを学ぶ機会の提供

##### 【推進の方向性】

- ・子どもの興味関心を大切にしたい読書活動を推進する。
- ・絵本や読み聞かせを親子で楽しむことにより、親子での関わりやふれあう時間となる読書活動を推進す

る。

- ・保護者へ絵本や読み聞かせの重要性を伝え、家庭での主体的な読書活動が行われるよう支援する。

**【具体的な取り組み】 ●は重点事業**

<p>具体的な取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者(家族)による絵本や物語の読み聞かせ</li> <li>・町立図書館や移動図書館バスで本を借りる</li> <li>・家族で町立図書館等の読書活動イベントに参加する</li> </ul>	<p>事業名等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●<b>図書館バス利用ガイダンス</b></li> <li>●<b>家読推進事業</b></li> <li>*本との出会い講座・講演会</li> <li>*図書館バス巡回事業</li> <li>*らうす古本市</li> </ul>
-----------------	--	-------------	--

**(3)小学生期**

**【推進方策】**

- \*子どもの読書環境の充実を推進するための学校・家庭・地域との協力連携
- \*小学校中学年、高学年を対象とした読書活動の充実
- \*子どもの生活習慣や読書習慣を整えるための体験活動と連動させた事業の実施

**【推進の方向性】**

- ・学校司書や学校図書館と連携し、家庭での読書習慣の定着を推進する。
- ・読書離れが始まる小学校中学年以降に対して、学校司書と連携し、読書活動への興味関心を高める働きかけを行う。
- ・生活習慣や読書習慣を整える学びの機会を提供し、子どもが自発的に生活習慣や読書習慣を整えることができるよう支援する。

**【具体的な取り組み】 ●は重点事業**

<p>具体的な取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町立図書館や移動図書館バスで本を借りる</li> <li>・家族で町立図書館等の読書活動イベントに参加する</li> <li>・料理や工作など本と体験学習を連動させ、生活習慣や読書習慣を整える</li> <li>・学校司書と連携した小学校中学年、高学年を対象とした読書活動の実施</li> </ul>	<p>事業名等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●<b>家読推進事業</b></li> <li>●<b>らうす寺子屋 kids</b></li> <li>●<b>図書館バスガイダンス</b></li> <li>●<b>図書館のひみつ学習</b></li> <li>●<b>読み聞かせ連携支援</b></li> <li>*本との出会い講座・講演会</li> <li>*図書館バス巡回事業</li> <li>*らうす古本市</li> </ul>
-----------------	--	-------------	---



#### (4)中学生期

##### 【推進方策】

- \* 蔵書検索システムを活用した利用促進
- \* 学校図書館や図書委員と連携した中学生の読書活動の推進

##### 【推進の方向性】

- ・インターネットによる情報収集が主流となる世代のため、町立図書館 HP のコンテンツの充実を図り、蔵書への興味関心を高め、読書活動につなげる。
- ・学校司書や学校図書館と連携し、家庭での読書活動を推進する。

##### 【具体的な取り組み】 ●は重点事業

具体的な取り組み	<ul style="list-style-type: none"><li>・町立図書館や移動図書館バスで本を借りる</li><li>・町立図書館等の読書活動イベントに参加する</li><li>・町立図書館 HP コンテンツの充実</li><li>・中・高生を巻き込んだ読書活動を実施する</li></ul>	事業名等	<ul style="list-style-type: none"><li>●中・高生の読書活動推進事業</li><li>*らうす古本市</li><li>* 図書館バス巡回事業</li><li>*家読推進事業<small>うちどく</small></li><li>*オンラインシステムを活用した情報発信</li></ul>
----------	--	------	---

#### (5)高校生期

##### 【推進方策】

- \* 蔵書検索システムを活用した利用促進
- \* 高校(図書委員)と連携とした読書活動の推進

##### 【推進の方向性】

- ・インターネットによる情報収集が主流となる世代のため、町立図書館 HP のコンテンツの充実を図り、蔵書への興味関心を高め、読書活動につなげる。
- ・高校との連携体制を構築し、情報交換・共有を図りながら家庭での読書活動を推進する。

##### 【具体的な取り組み】 ●は重点事業

具体的な取り組み	<ul style="list-style-type: none"><li>・町立図書館や移動図書館バスで本を借りる</li><li>・町立図書館等の読書活動イベントに参加する</li><li>・町立図書館 HP コンテンツの充実</li><li>・中・高生を巻き込んだ読書活動を実施する</li></ul>	事業名等	<ul style="list-style-type: none"><li>●中・高生の読書活動推進事業</li><li>*らうす古本市</li><li>* 図書館バス巡回事業</li><li>*家読推進事業<small>うちどく</small></li><li>*オンラインシステムを活用した情報発信</li></ul>
----------	--	------	---

## 基本目標 2 子どもの読書活動を推進するための読書環境の整備

羅臼町の子どもが、どこに住んでいても、好きな本を手にとったり、必要な資料を調べたりすることができる読書環境をつくるために、道、市町村、学校、関係機関、団体等と相互に連携・協力しながら計画的に整備を図ります。

### (1)羅臼町図書館

#### 【推進方策】

- \* 図書の計画的な除籍・更新
- \* 資料整備及び蔵書検索機能の継続と充実
- \* 多様化する図書館での過ごし方に対応した館内環境の整備

#### 【推進の方向性】

- ・蔵書構成や内容を確認し、蔵書の除籍・更新を計画的に行い、蔵書の魅力化を図る。
- ・蔵書検索システムや図書館 HP を活用し、読書意欲の向上と図書館の利用促進を図る。
- ・図書館に滞在し読書を楽しむことのできる環境を整備する。

#### 【具体的な取り組み】 ●は重点事業

具 体 的 な 取 り 組 み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読みたい本を自分で探すことができるように標示や配架を工夫する</li> <li>・図書館の除籍・更新を進め蔵書の魅力化を図る</li> <li>・個々の端末から読みたい本を探すことのできる環境を整える</li> <li>・図書館に滞在し本を選んだり読書を楽しんだりすることのできる環境を整える</li> </ul>	事 業 名 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 図書館施設の有効活用</li> <li>* 図書資料整備事業</li> <li>* 蔵書検索システムの継続</li> <li>* オンラインシステムを活用した情報発信</li> </ul>
--------------------------------------	---	------------------	---

### (2)学校図書館

#### 【推進方策】

- \* 資料整備及び蔵書検索機能の継続と充実
- \* 学校図書館図書標準を達成するための蔵書数の確保

#### 【推進の方向性】

- ・一校一園化に向けて蔵書構成や授業の関連単元等を確認し、計画的に蔵書の除籍・更新を推進する。
- ・蔵書管理システムや羅臼町図書横断検索等を活用しながら、図書の検索に対して支援する。
- ・学級数が変動しても学校図書館図書標準冊数を達成できる蔵書数を確保する。

【具体的な取り組み】 ●は重点事業

<p>具体的な取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読みたい本を自分で探すことができるように標示や配架を工夫する</li> <li>・学校図書館の除籍・更新を進め蔵書の魅力化を図る</li> <li>・個々の端末から読みたい本を探すことのできる環境を整える</li> <li>・学校図書館だよりの発行</li> <li>・学校 HP や校内掲示等を活用した読書活動の啓発</li> </ul>	<p>事業名等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●一校一園化に向けた学校図書館の資料の整備</li> <li>*蔵書検索システムの継続</li> <li>*羅臼町図書横断検索の活用</li> <li>*学校図書館だよりの発行</li> <li>*学校 HP・校内掲示の活用</li> </ul>
--	--



司書が行う「図書館のひみつ学習」(小学3年生対象)



読み聞かせボランティアによる大人の読み聞かせ



ハッピー手作り絵本教室(ブックスタート事業)



移動図書館バス『かもめ号』の巡回

### 基本目標 3 関連機関との連携・協力による推進体制の充実

子どもの読書活動の推進に関わる機関や団体には、保育園・幼稚園、学校、子育て支援・発達支援センターなど多岐に渡ります。そのため、子どもの生活全般に関わる各関係機関等と相互に情報交換や交流を深め、子どもの自律と家庭教育を支援しながら読書活動を効果的に推進します。

#### 【推進方策】

- \* 各関係機関との連携強化
- \* 学校司書の継続配置の要望
- \* 読み聞かせサークル等の継続的な支援

#### 【推進の方向性】

- ・各種事業や会議で、情報共有し、すべての発達段階で子どもの読書活動を支援できる体制を構築する。
- ・学校図書館活動の充実のための要となる学校司書の継続配置を要望する。
- ・読み聞かせサークル等の図書館関係団体と情報交換・共有を綿密に行い、継続して支援する。

#### 【具体的な取り組み】 ●は重点事業

具体的な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種事業での連携・協力</li> <li>・各種会議での情報共有</li> <li>・学校司書の継続配置を要望する</li> <li>・司書、学校司書及び図書館関係団体を対象とする研修の機会を提供する</li> </ul>	事業名等	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各関係機関との連携強化</li> <li>* 子どもの自律・親育ち応援チーム「<small>おむすび</small>」との連携</li> <li>* 子育て支援ネットワーク会議での情報共有</li> <li>* 幼稚園・小学校・中学校・高校との連携</li> <li>* 研修機会の提供</li> </ul>
----------	---	------	--



各種事業での読み聞かせ協力

### 子どもたちの読書活動を支える 読み聞かせサークル



小学校での読み聞かせ

## 計画の関連図

# 町

羅臼町第8期総合計画  
2024～2031年度 8年間  
(令和6年度～令和13年度) 実施計画は3年間



羅臼町教育大綱 2023～2026年度 4年間  
(令和5年度～令和8年度)



羅臼町第9次社会教育中期計画  
2024～2027年度 4年間  
(令和6年度～令和9年度)



第3期羅臼町子どもの読書活動推進計画  
2025～2028年度 4年間  
(令和7年度～令和10年度)

# 国

- 子どもの読書活動の推進に関する法律（平成13年12月）
- 第5次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（令和5年3月）
- 学校図書館法の一部が改正（平成26年）
- 学校図書館ガイドライン（平成28年）文部科学省

# 道

- 北海道子どもの読書活動推進計画（第五次）  
2023年度～2027年度 5年間  
(令和5年3月策定)

### 第3期羅臼町子どもの読書活動推進計画策定委員名簿

	役職	氏名	所属	備考
1	委員	四ツ屋 由紀子	社教委員兼図書協	
2	副部長	斉藤 恵美	こぐまちゃんサークル	
3	代表	鈴木 由妃	ぐりとぐらのえほんぽけっと	委員長
4	副園長	田中 寿子	羅臼幼稚園	
5	〃	藤本 郁美	春松幼稚園	
6	学校司書	古内 光穂	知床未来中学校	副委員長
7	保育士	中西 朋佳	子育て支援センターありんこ	
8	教諭	坂井 済	羅臼高等学校	
9	事務局長	長岡 紀文	図書館長	
10	事務局次長	吉田 盛一	図書係長	
11	事務局員	黒田 恭子	図書館司書	
12	〃	渡辺 結名	〃	

### 策定スケジュール

年 月 日	会 議 名
令和6年 7月25日	第3期羅臼町子どもの読書活動推進計画第1回策定委員会 策定の考え方及び計画策定のスケジュールの確認
8月29日	第3期羅臼町子どもの読書活動推進計画第2回策定委員会 第2期実施内容検証、成果と課題、「基本目標」の整理
9月19日	第3期羅臼町子どもの読書活動推進計画第3回策定委員会 推進方策、具体的な取り組みの検討
10月24日	第3期羅臼町子どもの読書活動推進計画第4回策定委員会 第1章、第2章、第3章の内容確認
12月5日	第3期羅臼町子どもの読書活動推進計画第5回策定委員会 計画（案）の最終確認

## 第3期羅臼町子どもの読書活動推進計画

令和7年度～令和10年度

発行日 令和7年3月

発行者 羅臼町教育委員会

住 所 〒086-1833 北海道目梨郡羅臼町本町 71 番地 12

TEL 0153-85-7171

FAX 0153-85-7172




—<sup>お</sup>緒むすび12の標語より—

優しい心や思いやり 読み聞かせ・読書や会話で育てよう

親子の温かいふれあいや会話に 本を活用しよう



子どもの自律・親育ち応援チーム

<sup>お</sup> 緒むすび